

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月13日	作成者名	佐藤 健治	評価者名	今井 教雄
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	06 活力と賑わいを創出できるまち	中心となる課	環境経済部・経済政策課
分野	03 地域資源	関係課	
施策	71 都市型農業の振興		
施策の目的	都市部における市民の農業理解のため、市民相互のふれあいや憩いの場としての市民農園を拡充し、また、農業に関する行事を充実させ、農業の振興を図ります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	農政対策事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
土に親しむ広場の利用区画数	土に親しむ広場区画数	区画	663	632	536	576			
戸田収穫祭の来場者数	戸田収穫祭への来場者数	人	2,640	2,200	2,373	2,540			
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>都市化の進行により、市民農園「土に親しむ広場」への貸出地は平成29年度は「氷川町第2広場」の開設により増加したが、今後においては用地確保は難しい状況である。</p> <p>本市における農業振興が難しいことから、姉妹都市との交流事業の充実化も求められる。</p>	対応策	<p>用地確保が難しい状況の中、市民農園「土に親しむ広場」は利用を希望する市民が多いことから、市民が農業に触れる機会が得られるよう調査・検討していく。</p> <p>また、現在、農政による交流事業を行っている埼玉県・美里町と農業体験の更なる充実を図るため検討していく。</p>
----	---	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	土に親しむ広場は毎年応募者多数による抽選を行う等、人気のある事業であることから、農園面積を増加できるよう生産緑地の解除等、注視していく。 戸田収穫祭の来場者数については、年々増加している。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	現状の予算、人員の中で、都市化が進行した本市で実施できる事業を検討し、市民の食や農に対する関心の高まりに応じていく。
→		

(評価者コメント)

市民農園の用地確保は難しい状況にあるものの、今後起こりうる生産緑地の解除等、引き続き調査を行ってほしい。 また、市民が農業に触れることができる事業についても、姉妹・友好都市との交流事業を含め幅広い見地から検討を進めてほしい。
